

科目責任者 本島 清人 (生化学教室)

■ 教育目的

大学という、学習・挑戦に恵まれた環境の中で、自分で設定した問題の解決に向けて、学内教員の指導のもと、能動的に取り組むことを経験する。

■ 学習到達目標

各人が、指導教員と相談のうえ、到達目標を設定する。たとえば、

1. 実務実習での経験から見出した問題に、実際に実験することによって、あるいは文献研究を中心に取り組む、
2. 生物系あるいは化学系の基礎薬学の研究に挑戦する、
3. 公務員試験合格を目指して、勉強する、
4. 不足と感じている基礎学力の充実を目指す、

など各人の事情に合わせた設定が可能です。

しかし、到達目標は、学生だけで勝手に決めるものではありません。あくまでも指導教員との合意が必要です。そのため、コース選択決定の前に、指導を希望する教員との話し合いをしておく必要があります。とくに、上記の3.や4.などの希望を持つ学生は、事前に指導教員の合意を得ておく必要があります。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：テーマに関連した事項を、該当する教科書で見直し確認し、インターネット等で新しい点を調べておく。

復習：配布された資料を読み直し、新たな疑問を持つように努め、次回の解決を目指す。

■ 授業内容

学内教員の指導のもとでの演習となります。

学習到達目標が同一ではないことで、指導教員によって演習内容に大きな差が生じる恐れがあります。学外コース選択に比べて演習内容が劣ることのないように、以下の点を守ることが必要です。

- ①指導教員の指導のもと、研究テーマを設定し、演習内容の計画を立てる。それを計画書としてまとめて演習開始時までに科目責任者に提出する。
- ②研究ノートあるいは演習ノートを作製し、毎日の演習内容を記録する。
- ③薬学研究コース A 全体の講義・演習に出席する。

■ 成績評価方法

演習・研究に取り組む姿勢とその成果を指導教員が評価し、それに全学発表会での発表内容を加味し、総合的に評価する。

■ その他

本年度の薬学研究コース A 選択生は、ほとんどが3期となっています。そのため、3期には全体講義・演習、あるいは講演会を予定していますが、1期2期では、他の催しを薬学研究コース A 向けの講義等に振り返る予定です。